



GB

訪問ガイド 2026

# ボルゲーゼ美術館

ローマ・から 83€

<https://galleriaborghese.visit-tickets.com/ja/> 優先入場チケット & 料金



## 歴史 & エクスペリエンス

### 起源 & 歴史

## 教皇の権力とバロックの誕生

GOOGLE **4.6** ★★★★★ 30 510 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 3 869 レビュー

1605年、シエナ出身の富裕なボルゲーゼ家が教皇パウロ5世としてカミッロ・ボルゲーゼを選出させたことで、ローマ北部ピンチャーノ地区での壮大な建設プロジェクトが加速しました。この権力の集中は、甥であるシピオーネ枢機卿が息を呑むような芸術コレクションを構築するための強力な後押しとなり、今日私たちが賞賛する美術館の基礎を築きました。パウロ5世の支援のもと、収集熱は頂点に達し、バロック芸術の黄金期を象徴する作品群が集められました。

建築家フラミニオ・ポンツォが設計したヴィラは、1607年の着工から1620年にかけて完成へと向かいました。メディチ・ヴィラやファルネジーナに触発されたこの建物は、庭園に直接開くアーケードを通じて、内部の芸術空間と外部

の自然を流暢に繋がります。ファサード全体には**144**体の浮彫と70体の胸像が飾られ、17世紀の建築的意欲と装飾的な豊かさを示しています。

1983年の閉館後、ギャラリーは14年間にわたる大規模な修復工事を受けました。この巨大な工事は外観に元の姿を取り戻させ、特に漆喰の仕上げと二重勾配の入場階段を整備しました。その結果、**1997年6月**に壮大な再オープンが可能になり、歴史的建造物の美しさが現代の訪問者に再び披露されることになりました。

コレクションの歴史は単なる収集にとどまらず、1682年のアルドブランディニ遺産の継承など、複数の重要な段階を経て調和のとれた集合体となりました。古代彫刻からイタリアの巨匠の絵画まで、これらの作品はボルゲーゼ家の収集を補完し、ローマにおけるバロック芸術の中心的な存在としての地位を確立しました。

## 体験

入口をくぐった瞬間、訪れる者は静かで荘厳な雰囲気に包まれます。多くの窓から差し込む豊かな自然光が、白い大理石の彫刻を生き生きと輝かせ、各細部を sublimite しようと試みます。この光の演出は、作品を知覚する体験を大幅に豊かにし、単なる鑑賞を超えた没入感をもたらします。自然光の下で、ベルニーニの彫刻はまさに生命を宿したように見えます。

コンパクトな規模ながら、美術館はバチカンの大規模な施設よりも静かで、過度な疲労を感じることなく深く芸術に浸ることができます。カップルや芸術愛好者にとって、この空間はイタリアのバロック芸術の本質を味わうための完璧な舞台です。時間の制約の中で、しかし心は自由になり、各作品との対話を楽しめます。



## 訪問の準備

## 実用的な情報

## 住所

ピンチャーノ地区・メトロ：Bologna（L3）から徒歩10分、または68/80系統バスPincio停留所。

## 開館時間

火曜日から日曜日まで開館、月曜日は休館。季節や祝日によって開館時間に変更される場合があります。

## 料金

年齢に応じて子供は無料（variantsを確認してください）。{promo}。

## 見学所要時間

完全な見学には2時間を予定してください。チケットはこの特定の時間帯に有効です。定時での退場は強制ではありませんが、ベルニーニの彫刻の前で時間に追われないよう、時間を管理することをお勧めします。

## 写真撮影

フラッシュなしの写真撮影はほとんどの部屋で許可されています。一時的な展示や繊細な作品では、顔料を保護するためにフラッシュが厳禁の場合があるため、特定の掲示物を確認してください。

## 対象者

カップルや芸術愛好者に最適です。雰囲気はバチカンの大規模な美術館よりも静かでコンパクトであり、イタリアのバロック芸術に深く浸れる一方で過度な疲労はありません。

## アクセス方法

## アクセス &amp; 交通手段



## 地下鉄

: Saba Parcheggio Villa Borghese — 8 min à pied

ローマ・テルミニ駅 (10 min)・ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (62 min)



## バス

: Po/Simeto — 7 min à pied

ローマ・テルミニ駅 (15 min)・ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (102 min)



## 車

ローマ・テルミニ駅 (8 min)・ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (81 min)



## 自転車

ローマ・テルミニ駅 (10 min)・ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (110 min)

## LOCALISATION

# Où se trouve ボルゲーゼ美術館？



📍 Piazzale Scipione Borghese, 5 — 00197 ローマ

🌐 41°54.853' N, 12°29.529' E



## 組織

## 2階層の効率的な動線

### 1階 (バーロック彫刻)

ベルニーニの代表作が集まる主要な展示室です。プロセルピナ誘拐、アポロンとダフネ、ダビデなどの彫刻が配置され、自然光の下でそのダイナミクさを最大限に発揮します。各作品は特定の角度から鑑賞するように設計されており、動きと感情の表現に注目してください。

### 2階 (絵画とフレスコ)

カラヴァッジョ、ルーベンス、ラファエロなどの絵画が展示されています。『哀悼』や『ダビデとゴリヤス』など、バロック絵画の傑作が並んでいます。また、ヴィラのいくつかの部屋にはルドヴィコ・チゴリによるプシュケの物語を描いたフレスコ画も残っており、視覚体験にさらなる物語的な層を加えます。

### 庭園へのアーケード

1607年から設計されたこの建築的な開口部は、博物館内部と周囲の公園の自然との間の流暢な移行を作成します。ここからの眺めは、体力を使った後の貴重な休憩となります。庭園の緑と空の青が、室内の芸術空間と対比し、訪問者に精神的な解放感を与えます。

### アクセシビリティ

#### 車椅子アクセス

エレベーターによるアクセス、歴史的階段の特定の条件を確認すること。

#### ファミリー向け

訪問は可能だが所要時間が長く、隣接する庭園での休憩を計画すること。

#### オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語, ドイツ語, イタリア語



## 必見スポット

### 選択

## 絶対に外せない名作たち

### 01 ジャン・ローレンツォ・ベルニーニ 1階 中央ホール

#### プロセルピナの誘拐

白い大理石で描かれたこの彫刻は、窓からの自然光の中で圧倒的です。プロセルピナが冥界へ引きずり込まれる瞬間の恐怖と抵抗が、石の中に生き生きと表現されています。観察者は彼女の足元の岩や、ハデスの力強い腕の動きに注目すべきです。

💡 ベルニーニはこの作品をシピオーネ枢機卿のために制作し、彼自身の肖像をハデスとして隠していると言われています。

### 02 ジャン・ローレンツォ・ベルニーニ 1階 円形室

#### アポロンとダフネ

神話の変身劇を捉えたこの彫刻は、運動と変容の究極の表現です。アポロンがダフネを抱きしめる瞬間、彼女の指先が枝に変わり、髪が葉になる様子が繊細に描写されています。光の当たり方によって、石の質感が有機的なものへと変化するように見えます。

💡 この作品は、シピオーネ枢機卿が所有していた古代彫刻の影響を受けており、バロック期の動感性を象徴しています。

### 03 ジャン・ローレンツォ・ベルニーニ 1階 廊下

#### ダビデ

ミケランジェロの同名作品とは異なり、このダビデは戦い直前の緊張感を表現しています。彼は敵を見据え、一瞬の決断を待っている姿で、よりダイナミックかつ心理的に深い作品です。足元の小石や、肩の筋肉の緊張を観察することで、その臨場感を感じ取れます。

💡 この彫刻は、シピオーネ枢機卿の書斎に最初に置かれ、彼の権力と決断力を象徴すると考えられています。

## 04 ジャン・ローレンツォ・ベルニーニ 1階 廊下

### ユディットとホロフェルネス

混雑に気を取られることなく集中できるこの像は、暴力と正義のテーマを扱っています。ユディットがホロフェルネスを斬首する瞬間の残酷さと決意が、大理石の中に凝縮されています。侍女たちの表情や、床に落ちた血の流れにも注目してください。

💡 この作品は、当時の政治的な状況、特に反乱鎮圧への対応を反映していると解釈されることもあります。

## 05 ピーテル・パウル・ルーベンス 2階 絵画室

### 哀悼 (受難)

キリストの死後、母マリアが遺体を抱く場面を描いたこの絵画は、バロック絵画の情感を象徴しています。暗い背景に対して、人物の肌や衣類が明るく浮かび上がり、ドラマチックな効果を生み出しています。色彩のコントラストと構図の安定さに注目してください。

💡 ルーベンスはローマ滞在中にこの作品を制作し、イタリアのバロックスタイルとフランドルの伝統を融合させています。

## 06 カラヴァッジョ 2階 絵画室

### ダビデとゴリヤス

カラヴァッジョ特有の劇的な照明（テンプェラ）を用いたこの絵画は、勝利の瞬間を捉えています。倒れたゴリヤスの顔は、おそらく画家自身または弟子の肖像と考えられており、自己言及的な要素を含んでいます。鮮やかな色彩とリアルな描写が特徴です。

💡 この作品は、シピオーネ枢機卿の依頼により制作され、彼の書斎に飾られたことが知られています。

## 07 ルドヴィコ・チゴリ 2階 フレスコ室

### プシュケの物語

ヴィラの天井や壁に描かれたこれらのフレスコは、当時の特徴的なスタイルを証明しています。プシュケの神話に基づいた視覚的な叙事詩は、現代の訪問者に提供される視覚体験にさらなる物語的な層を加えます。細部まで精巧に描かれた人物や景観を観察してください。

💡 チゴリはバロック初期の重要な画家であり、これらのフレスコは彼のキャリアのハイライトの一つです。

## 08 アントワーン・カノーヴァ 2階 彫刻室

### ポーリーヌ・ボナパルト像

新古典主義の巨匠カノーヴァによるこの像は、ナポレオンの妹ポーリーヌを女神ヴィーナスのように描いています。滑らかな大理石の表面と、優雅なポーズは、バロックの動感性とは異なる静謐な美しさを示しています。衣装の皺や、肌の質感の繊細さに注目してください。

💡 この像は、フランス革命後の政治的な関係性を反映しており、カノーヴァとボナパルト家の結びつきを示しています。

## アドバイス

## 最高の訪問のためのヒント

## TIMING

午前中の最初の時間枠（8:30から）が通常最も静かです。夕方の光を楽しむ場合は、一日の最後の時間枠も興味深いかもしれません。平日の昼間のようなピーク時間は避けてください。

## PARCOURS

時間に追われている場合は、1階のベルニーニの彫刻と2階のカラヴァッジョの絵画に集中し、本質的なものをすべて見逃さないようにしてください。完全な見学には2時間を予定してください。

## PAUSE

美術館の時間枠の前または後にヴィラ・ボルゲーゼの庭園での散歩を計画してください。公園は広大で無料であり、美術館の芸術的強度との完璧な対比を提供します。

## AUDIOGUIDE

オーディオガイドはフランス語、英語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語で提供されています。一人で訪問し、作品について深く知りたい方にとって、優れた補完手段です。

## BILLET

スキップザラインチケットは行列なしで入場を保証しますが、特にハイシーズンには事前予約を優先してください。スタンダードチケットでは変動する待ち時間が発生する可能性があります。

## PHOTO

ほとんどの部屋ではフラッシュなしでの写真撮影が許可されています。ただし、一時的な展示や繊細な作品ではフラッシュが厳禁の場合があるため、特定の掲示物を確認してください。

## ENFANTS

訪問は可能だが所要時間が長く、隣接する庭園での休憩を計画すること。少人数グループ向けガイド付きツアーを選択すると、子供たちにとってより魅力的な体験になります。

## CONFORT

大きな荷物や傘のためのクロークがあり、快適な移動に欠かせません。小さなハンドバッグとコンパクトなカメラのみが部屋に入ることを許可されます。



## よくある質問

## よくある質問

予約なしでボルゲーゼ美術館を見学することは可能ですか？

いいえ、博物館への入場には予約が必須です。システムは訪問者の流れを調整する厳格な時間枠で機能します。したがって、事前に特定の時間枠を予約せずに現地で購入することはできません。

混雑を避けるための最良の時間枠はどれですか？

午前中の最初の時間枠（8:30から）が通常最も静かです。夕方の光を楽しむ場合は、一日の最後の時間枠も興味深いかもしれません。平日の昼間のようなピーク時間は避けてください。

事前にどのくらい早く予約すべきですか？

特に夏休みや学校の休暇期間中は、少なくとも1〜2週間前に予約することをお勧めします。特にフランス語ガイド付きツアーでは、時間枠は非常に早く埋まります。週末以外のオフシーズンでは、数日前の予約で十分な場合もあります。

予約をキャンセルまたは変更できますか？

条件はチケットの種類によって異なります。標準的なファストトラックチケットは通常返金不可ですが、24時間前まで変更可能です。ガイド付きツアーはより厳格なポリシーがあります。購入を確認する前に、常に無料キャンセル条件を確認してください。

ギャラリーの完全な見学にはどのくらいの時間がかかりますか？

チケットは2時間の時間枠をカバーします。この時間はコレクションの主要部分を見るのに十分です。時間枠終了時に物理的な退去はありませんが、他の訪問者に譲るためにこのタイミングを守ることを強くお勧めします。

## ご存知ですか？

## エピソード &amp; トリビア

## コレクター教皇の影響

1605年、Camillo Borghese がパウロ5世として選出されたことで、収集熱が高まりました。その甥 Scipione はこの直接的な影響力を利用して、息を呑むようなプライベートコレクションを集め、今日私たちが賞賛する未来の美術館の基礎を築きました。

## 光あふれる建築設計

建物は、芸術作品を照らすために特別に設計された多くの窓が開けられています。ファサードは144体の浮彫と70体の胸像で飾られ、17世紀の自然光によって各細部をsublimateしようとする建築的意欲を示しています。

## 大規模な修復工事

1983年に閉館した後、ギャラリーは14年間にわたる完全な修復を受けました。この巨大な工事は外観に元の姿を取り戻させ、特に漆喰と二重勾配の入場階段を整備し、1997年6月の壮大な再オープンが可能になりました。

## 庭園へのアーケード

1607年から、建築家Flaminio Ponzioはヴィラの庭園に直接開くアーケードを設計しました。メディチ・ヴィラに触発されたこの建築的な開口部は、博物館内部と周囲の公園の自然との間の流暢な移行を作成します。

## 博物館周辺

美術館は広大なボルゲーゼ別荘の庭園の中に位置しており、訪問前後に散歩を楽しむのに最適です。公園は無料でアクセス可能で、噴水と日陰の遊歩道を鑑賞するには少なくとも1時間を確保してください。近くにはポポロ広場があり、双子の教会を持つ象徴的な広場で、歴史地区を探索するための完璧な出発点です。また、サンタ・マリア・デル・ポポロ教会ではラファエロとカラヴァッジョの主要作品を収蔵しており、文化の日を理想的に補完します。食事にはトラットリア ダ エンツォ アル 29が本格的なローマ料理で有名です。



ボルゲーゼ美術館での訪問は、単なる観光ではなく、時間を超えた芸術との深い対話です。光と影の中、大理石が語りかける瞬間を逃さず、自分だけの発見を楽しんでください。この経験は、あなたの記憶に永遠に残るでしょう。